

IV 教育施策の具体的実施状況

6 家庭・地域の教育機能の充実 [社会教育の充実]

- (1) 生き生きした活動を支える社会教育基盤の整備・充実
- (2) 時代のニーズに応える社会教育活動の充実
- (3) 心の触れあいのある家庭教育機能の充実

担当課：生涯学習振興課

6 家庭・地域の教育機能の充実

(1) 基本方向

社会教育は、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動である。

県民の生涯学習に対するニーズが多様化・高度化する中、社会教育は、その推進の重要な役割を担うものであり、学習機会や場の提供、指導者の確保等の充実が求められている。

県民の生き生きとした社会教育活動を支援し、時代のニーズに即した学習活動に対応するため、公民館や図書館、青少年教育施設等の整備・充実や社会教育指導者等の育成など、社会教育基盤の整備を推進するとともに、社会教育活動の充実を図る。

また、明るく温かい心の触れあいがある家庭は、子どもたちが健やかに成長し、豊かな人間性を育み、社会のルールや規範の基礎・基本を身に付ける原点であるという認識のもと、家庭教育支援事業や親子電話相談事業を推進し、家庭教育支援の充実に努める。

(2) 指標

「矢印」前年度からの傾向 「/」事業設定なし 「―」数値未発表・未確定 「頁」関連事業案内 「◎」目標値達成指標

成果指標：該当頁	単位	H25	H26	H27	H28	H29	目標値 H33
子どもの読書活動推進計画の策定：P154	冊	↗ 24	↗ 25	↗ 26	→ 26	→ 26	37
社会教育指導者研修会への参加者数：P156	人	↗ 184	↘ 141	↘ 138	↗ 141	↗ 150	180
人権教育指導者研修会への参加者数：P158	人	↗ 178	↗ 204	↗ 236	↗ 262	↘ 189	300
家庭教育支援コーディネーターの地域設置率：P160	冊	→ 3	↗ 4	→ 4	→ 4	→ 4	10
家庭教育支援アドバイザー登録者の地域設置数：P160	冊	―	―	↗ 26	↗ 33	↗ 41	41 ◎

活動指標：該当頁	単位	H25	H26	H27	H28	H29	目標値 H33
子どもの読書活動推進フォーラムへの参加者数：P154	人	↘ 318	↘ 293	↘ 281	↘ 245	↘ 199	500
青少年教育施設職員等の研修会参加者数：P156	人	↗ 56	↗ 58	↘ 47	↗ 49	↗ 57	35 ◎
視聴覚教材の保有数：P156	本	↗ 1,884	↗ 1,896	↗ 1,906	↘ 1,895	→ 1,895	1,950
沖縄県公民館研究大会への参加者数：P158	人	↘ 470	↗ 585	↘ 552	↘ 533	↘ 370	700
家庭教育支援者研修会への参加市町村数：P160	数	↗ 14	↗ 19	↗ 24	↘ 21	↗ 32	20 ◎
家庭教育支援者研修会の参加者数：P160	人	↘ 145	↘ 121	↗ 237	↗ 683	↘ 239	600
親子電話相談件数：P160	件	↗ 2,389	↘ 1,593	↗ 1,901	↘ 1,363	↘ 739	2,000
家庭教育支援アドバイザー数：P162	人	―	―	↗ 225	↗ 377	↗ 624	450 ◎

(3) 各事業の点検・評価

課題	事業名	内容	Plan (計画)	Do (実施)
① 二 ー ズ に 応 え た 活 動 を 支 え る 社 会 教 育 基 盤 の 整 備 ・ 充 実	<p>ア 県立図書館の充実事業</p> <p>【担当課】生涯学習振興課</p> <p>【21世紀ビジョン】5-(1)-イ①</p> <p>【決算額】18,341千円</p> <p>【進捗状況】順調</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様化する地域の課題や県民のニーズへの対応 ■ 各市町村の支援を含めた図書館サービスの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各課題に関する図書・雑誌、オンラインデータベース等により網羅的に情報支援を行う。 ■ 外部関連団体と連携して、セミナーや相談会等を図書館で開催する。 ■ 必要な情報の探し方ガイドやブックリストの作成等により、図書館の活用法及び利用促進を図る。 ■ レファレンスサービスの充実を図るため職員のスキルアップを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各課題に対する図書・雑誌購入、オンラインデータベース化等により、網羅的に情報支援を行った。 ■ 外部関係団体と連携して、セミナーや相談会等を図書館で開催した。また、必要な情報の探し方ガイドブックやブックリスト作成等により、図書館利用促進を図った。 ■ レファレンスサービスに関わる先進的な取組を視察した。
	<p>イ 子どもの読書活動推進事業</p> <p>【担当課】生涯学習振興課</p> <p>【21世紀ビジョン】-</p> <p>【決算額】1,342千円</p> <p>【進捗状況】大幅遅れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 読書活動推進フォーラム、各市町村の読書推進計画の推進 ■ 第三次沖縄県子ども読書活動推進計画の推進と次期計画の策定準備 (H29~H30) ■ 子どもの読書活動推進会議の開催 (年6回) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「子ども読書の日」記念フォーラム及び「文字・活字文化の日」記念フォーラムを開催する。 ■ 第三次沖縄県子ども読書推進計画の推進を行う。 ■ 読書ボランティアに対する指導助言者として、子ども読書指導員を養成する。 ■ 沖縄県子ども読書活動推進会議を開催する。 <p>※子ども読書の日(4月23日)</p> <p>※文字・活字文化の日(10月27日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「子ども読書の日」記念フォーラム及び「文字・活字文化の日」記念フォーラムを開催した。 ■ 読書ボランティアに対する指導助言者等、地域・学校等の読書活動推進におけるリーダーとして活躍できる人材(沖縄県子ども読書指導員)を養成し、活用を図った。 ■ 子どもの読書活動推進会議及び担当者会議を開催し、各地区・地域等の読書推進についての状況を共有し、「第三次沖縄県子ども読書活動推進計画」の推進について協議した。
	<p>ウ 離島読書活動支援事業</p> <p>【担当課】生涯学習振興課</p> <p>【21世紀ビジョン】3-(11)-イ② 5-(2)-ア①</p> <p>【決算額】14,419千円</p> <p>【進捗状況】順調</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 離島・へき地における移動図書館や団体貸出 ■ 住民のニーズに応えた図書館サービスの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 移動図書館、一括貸出及び協力貸出による児童生徒等への読書サービスの支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 離島等の図書館未設置町村において、移動図書館・一括貸出・協力貸出等による児童生徒等への読書サービスの支援を行った。 ■ 移動図書館、一括貸出に使用する館外協力用図書の充実を図った。

Check (検証)	Action (改善)
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ビジネスセミナー、企業・就職相談会等については、計画値10回に対し、実績値36回で順調に進捗することができた。 ■図書等の資料の充実、外部団体と連携したセミナー等の実施により、県民の課題解決の支援を行うことができた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■平成30年度開館予定の新設図書館における支援活動の充実に向けて関連団体と連携を更に進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■新設図書館の支援設備（展示室、ビジネスエリア等）の利活用促進を図るため、民間企業、関連支援団体及び地方公共団体等への周知を図る。 ■各種関連団体と連携したビジネスに関連する講演会、セミナーのほか、県内産業の振興を目的とした県産品・製品の展示や親子で体験できるワークショップ等を開催する。
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■フォーラムの参加者が計画値345人に対し199人ととどまり大幅遅れとなった。しかし、近年各市町村等で関連するフォーラム等を開催するようになっており、県民の読書の関心を高める取組の広がりがみられる。 ■参加者の大半が子どもへ本をつなぐ図書館、学校関係者、読み聞かせボランティア等であり、フォーラムの開催が子どもたちが自主的に読書活動を行える人的環境の整備につながった。 ■各教育事務所と連携し、「第三次沖縄県子どもの読書活動推進計画」の周知・取組に関わる支援を行うことにより、各市町村において活動に対する意識の高まりがみられるようになった。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■各市町村等の事業内容を把握しながら、「フォーラム」の在り方を見直す必要がある。 ■読書環境の格差を解消するための方策を考える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■「フォーラム」の内容、規模等の見直しを図る。 ■各市町村等へ沖縄県子ども読書指導員の「フォーラム等関連事業」での活用を働きかけ、子どもの読書環境の格差解消を進める。 ■「子供の読書活動推進計画」の未策定地域を中心に、学校図書館司書、司書教諭、公立図書館司書が参加する研修会等で「第三次推進計画」の周知・取組を行うよう働きかけを行う。 ■子ども読書推進推進会議・担当者会議において国から出される「子どもの読書活動に関する基本的な計画」や県内各地域の状況、本県の「第三次計画」の成果と課題を踏まえ、「第四次計画」の策定を進める。
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■移動図書館実施回数については、計画値38回に対し、実績値41回で順調に進捗することができた。また、移動図書館の貸出冊数は昨年度を上回り順調に推移している。（H29年度 貸出人数2,126人前年比114%、貸出冊数17,358冊前年比111%） ■離島等での移動図書館等の実施により、読書サービスの充実が図られた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■図書館未設置町村に加えて、公立図書館は設置されているものの、小規模離島であり支援が必要であると見込まれる地域でも実施する必要がある。 ■離島、へき地への教育支援を行う沖縄美ら島財団や国際海洋環境情報センター等の他の機関と連携した取組を更に充実させる必要がある。 ■離島等の図書館未設置町村と連携を強化する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■離島の小規模公共図書館（渡名喜村、多良間村）において移動図書館等を開催する。 ■離島、へき地への教育支援を行うプログラムを持つ沖縄美ら島財団や国際海洋環境情報センター等の他の機関との連携を深め、取組を充実させる。 ■離島等の図書館未設置町村の教育委員会と連携を深め、地域の図書館設置の機運を高める。

課題	事業名	内容	Plan (計画)	Do (実施)
① 工 青少年教育施設職員等の研修 二 ズ に 応 え た 活 動 を 支 え る 社 会 教 育 基 盤 の 整 備 ・ 充 実	青少年教育施設職員等の研修 【担当課】生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】5-(1)-イ② 【決算額】220,250千円 【進捗状況】順調	<ul style="list-style-type: none"> ■ 青少年教育施設の管理・運営の充実 ■ 県内6青少年の家の連携と職員に資質向上 ■ 利用者のニーズに応じた活動のプログラム開発 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 青少年の体験活動の推進と発展のため、青少年教育施設職員研修会を実施し、青少年教育施設の主催事業や自主事業等の運営の充実を図る。 ■ 家庭教育支援推進計画をもとに、プログラムに親のまなびあいの場を作り、家庭教育支援と絡めた施設運営を目指していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 青少年の体験活動の推進と発展のため、青少年教育施設職員研修会を県立玉城青少年の家で実施した。全体会での共通理解や分科会での協議等をとおして、青少年教育施設の運営の充実を図った。 ■ 各施設で行われる主催事業の内容や回数を見直した。
	オ 社会教育指導者等研修事業 【担当課】生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】5-(1)-イ② 【決算額】292千円 【進捗状況】順調	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域における社会教育の推進に関わる人材の育成 ■ 社会教育指導者等の資質向上を目的とした研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修会を1回開催し、平成29年度生涯学習振興課施策行政説明を行う。その後、市町村事例発表、講演会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修会開催数は、計画値1回に対して、実績値1回であった。実施内容は、6月2日に沖縄県社会教育指導者研修を開催（参加人数150名）し、行政説明と講演会を行った。
	カ 視聴覚ライブラリー整備充実事業 【担当課】生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】- 【決算額】411千円 【進捗状況】順調	<ul style="list-style-type: none"> ■ 視聴覚機材・教材の整備・貸出 ■ 視聴覚教育に関する相談への対応 ■ 視聴覚教育関係者の資質向上研修会等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学習ニーズを把握し、教材・機材を選定するとともに、整備・充実を図る。 ■ 効果的に学習が進められるよう、視聴覚教育に関する相談について対応する。 ■ 情報教育指導者養成講座を実施し、視聴覚教育関係者の資質向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学習ニーズに応じた視聴覚教材や機材を購入するとともに、使用不能な教材・機材の選別を行った。 ■ 主に視聴覚教材や視聴覚機器に関する相談に応じた。 ■ 「情報発信の視点と方法及びその効果」、「ネット犯罪の現状と防止策」を中心とする研修内容で講座を実施した。

Check (検証)	Action (改善)
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■施設職員の研修会参加者数計画値30人に対し実績値56人、施設利用者数計画値200,000人に対し209,430人と順調に推進することができた。 ■青少年の家は社会教育施設であることから、歴史探訪や三味線教室など生涯学習関連事業の推進など、地域での社会教育の拠点としての活用も図られた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■計画訪問等を通して、指導系職員の人材確保のあり方について、再度協議する。 ■業務仕様書の指導系職員の採用条件を見直す。 ■各種アンケートに係る様式には、モニタリング調査に必要な質問事項を必要最小限にとどめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■計画訪問等を通して、指導系職員の人材を確実に確保し、運営が円滑に行われるように支援する。 ■次期管理者用の業務仕様書の指導系職員の採用条件を見直し（教員免許状有資格者の追加など）、指導系職員を広く採用できるようにする。 ■主催・自主事業アンケート用紙の問題点を改善するため、モニタリング調査に必要な質問事項を最小限にとどめ、残りの様式を各施設が事業検証できるように変更可とする。
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■平成29年度は、前年度(参加者141名)に比べ研修会での参加人数が150名に増加した。 ■社会教育指導者研修会を開催することで、社会教育行政関係者等の資質の向上が図られ、社会教育の振興・発展につながった。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言する職務があることから、市町村の社会教育委員や社会教育主事と連携を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■他県の先進的事例や体制等について情報を共有する。また、県や市町村の社会教育委員と社会教育主事が連携して取り組む必要のある課題をテーマとし、各地域で取り組むべきことや人的資源をどのように活用すべきかを協議し合う研修会を行う。
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■学習ニーズに応じた視聴覚教材や機材を選定購入する一方、劣化による使用不能な教材・機材の選別、廃棄申請を行うことにより、その整備・充実を図ることができた。 ■情報教育指導者養成講座は、学校教育関係者の参加が大多数だったが、プログラムを大幅に見直したことにより、社会教育関係職員の参加者が大幅に増加した。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■情報教育指導者の育成を図る講座としてのあり方を再検討し、プログラムの充実を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■劣化による使用不能な教材・機材の選別および廃棄申請を継続して行う。 ■情報モラルの育成やICTの利用促進につながる技術の習得等、学習ニーズに応じた講座内容を検討し、その充実を図る。

課題	事業名	内容	Plan (計画)	Do (実施)
② 時代の二歩に ズに 応え る 社会 教育 活動 の 充 実	ア 沖縄県社会 教育研究大会 等の開催 【担当課】 生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】 5-(1)-イ 【決算額】 292千円 【進捗状況】 やや遅れ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 時代の変化に対応した地域社会の創造を目指した研究大会の実施 ■ 各地域の現状や取組の成果に関する情報の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会教育行政関係者・社会教育関係団体・学校関係者を対象に、県主催（1回）の社会教育研究大会を実施する。 ■ 各地区（6回）においても、地域のテーマに応じた社会教育研究大会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 『『結いの心』でつながる地域づくり』のテーマを設定し、講演会やシンポジウムを開催した。また、4地区においては、市町村の事例報告や講演会や研究討議を開催した。
	イ 公民館研究 大会等の開催 【担当課】 生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】 - 【決算額】 - 【進捗状況】 順調	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公民館研究大会を実施し、公民館の進むべき方向性や直面する諸問題の解決に向けた研究協議の実施 ■ 講演会、分科会による公民館活動の充実・発展 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生涯学習・社会教育関係者が一堂に会する大会を1回開催し、日常の実践をもとに協議し、公民館活動の一層の充実・発展に資する。また講演と分科会を開催し、社会状況や公民館事情を踏まえた大会とする。 ■ 優良公民館や職員、永年勤続職員、功労者を表彰し、人材育成・継続性の確保、活動の充実・発展を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大会開催数は、計画値1回に対して、実績値1回であった。実施内容は、10月27日に石垣市において沖縄県公民館研究大会を開催（参加者数370名）し、全体講演と分科会を行った。 ■ 優良自治公民館4館、優良職員15名、功労者1名を表彰した。
	ウ 人権教育促進 事業 【担当課】 生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】 - 【決算額】 62千円 【進捗状況】 順調	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人権が保障される社会の実現を目指し、各種団体の指導者等への研修会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会教育、社会福祉、学校関係者を参加対象とし、人権に関する今日的な課題に対応できる指導者としての資質向上を図る研修会を1回開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修会開催は、計画値1回に対して、実績値1回であった。今年度は講師として弁護士を招き、子どもの人権（生きる権利・学習する権利）について基調講演・質疑応答の構成で開催した（参加者数189名）。

■ 社会教育指導者研修



沖縄県社会教育指導者研修会

■ 青少年教育施設職員研修



青少年教育施設職員研修会（玉城青少年の家）

Check (検証)	Action (改善)
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 県及び各地区社会教育研修大会は計画値7回に対し実績値は5回となり、やや遅れとなった。 ■ 県社会教育研究大会は、『『結いの心』でつながる地域づくり』と題して講演会を行った。また今年度から新たに分科会を設定し、各地区の事例報告を行うなど、大会を充実させることができた。 ■ 4地区においては各地のニーズに対して、社会教育での取組の実践事例の報告を行うことにより、情報の共有が図られた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言する職務があることから、市町村の社会教育委員や社会教育主事と連携を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各地区事務局と連携を強化し、県内の社会教育における事例について情報を収集する。また先行事例においては、県外大会へ派遣を行うことで情報を収集し、県内での共有を図る。 ■ 研修会が未実施の地区に対しては、重点的に指導・助言を行う。
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 参加者のアンケートから、大会講演・分科会・研究討議についての満足度はそれぞれ、87.7%・97.3%・87.7%であり（よい・まあよいの合算と、あまりよくない・よくないの合算比）、参加者のニーズに合致した大会を開催した。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市町村によって参加率に差があった。 ■ 台風の接近もあり、離島開催ということで、参加者が例年に比べて少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参加者の満足度は高いが、参加者数が目標値に届いていないので、広報の仕方を見直し、市町村の首長部局とも連携して、公民館関係者だけでなく地域住民の参加意欲を高める工夫を行う。 ■ また市町村教育委員会と連携・協働し、学校関係者の参加を増やす工夫をする。 ■ 大会講演と分科会における研究討議の満足度をより高めるため、大会テーマに基づいた講演講師の選定と、研究討議におけるコーディネーター選出を行い、参加者の増加を図る。
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 参加者のアンケートから、生活指導による別室登校と学習する権利との関係について、大部分の参加者が講師の基調講演に肯定的に捉えており、新たに考える機会となった。しかし少数意見として、学校現場での対応に理解を求める意見もあり、賛否両論あった。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ アンケート結果から参加者の満足度はとても高かったが、参加者が昨年度より少なかった。 ■ 研修会を基調講演のみとしてしまい、参加者の学びについて十分でない部分があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもの人権について改めて考える機会となり、賛否のある研修内容は様々な立場から人権について考えることに繋がるため、今後も満足度が高く、様々な意見の出る研修会の開催を図る。 ■ 研修会の構成と広報について課題があるため、まず構成を講演のみとせず、参加者が学びを持ち帰られるようなワークショップの形式も取り入れる。また参加者増については、現在テーマとしてニーズの高いものを選択すること、研修内容を明確に捉えることができるようなチラシ等を作成して、参加者を募る等、改善する。

■ 公民館研究大会



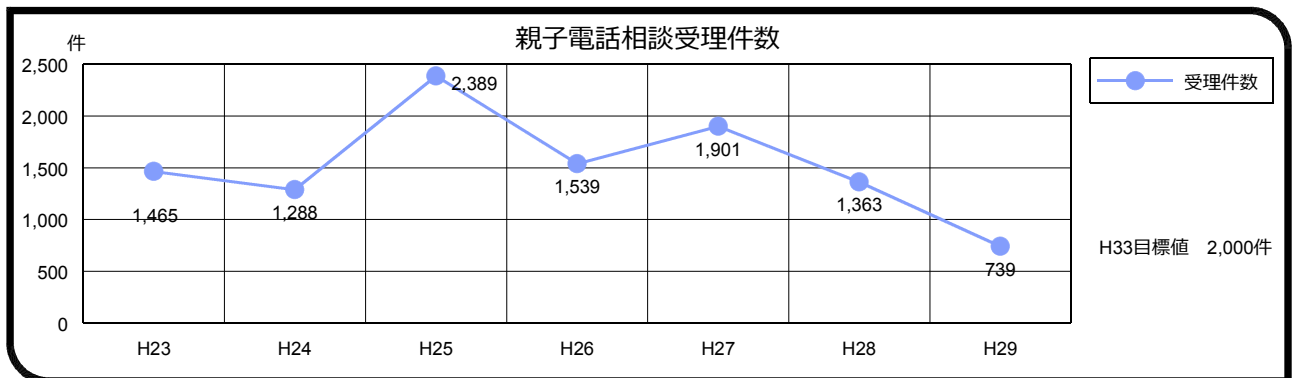
■ 人権教育促進事業



課題	事業名	内容	Plan (計画)	Do (実施)
③ 心の 触れ あい の あ る 家 庭 教 育 機 能 の 充 実	ア 家庭教育支援者研修会 【担当課】 生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】 5-(1)-イ 【決算額】 709千円 【進捗状況】 順調	<ul style="list-style-type: none"> ■ 家庭教育支援アドバイザー等の専門的知識や技能習得のための研修会を実施する。 ■ 受講者が家庭教育支援に関わる地域づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県内6地区の会場（国頭・中頭・那覇島尻・宮古・八重山、県婦連）において、家庭教育支援に関する活動をする者等に対して専門的知識や技能の習得を目指した研修会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県内6地区で18講座（1日3講座×6地区）を開催した。 ■ 全講座で239人が参加した。
	イ 家庭教育支援事業 【担当課】 生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】 5-(1)-イ 【決算額】 1,835千円 【進捗状況】 順調	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の大人が関わり、保護者の不安や子どもの悩みを軽減していく。 ■ 保護者、子ども、地域の人たちが、共に学び合い成長していく地域づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県内4市町村において家庭教育支援チームを4チーム結成し、公民館や学校を拠点として、支援の必要な家庭へのサポートを行う。 ■ 事業関係者の研修会等を実施し、基本的な生活習慣の確立等家庭教育に関する様々な取り組み事例や課題を共有し、家庭教育に関わる者の研鑽を深める。【国、県で2/3補助】 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県内4市町村において組織された「家庭教育支援チーム」による講演会等の実施や親の学びの場の提供、交流の場づくり等の家庭教育支援活動が実施された。 ■ 事業関係者（支援員）の資質向上のための研修会等を実施した。
	ウ 親子電話相談事業 【担当課】 生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】 5-(1)-イ① 【決算額】 5,524千円 【進捗状況】 順調	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子育てに悩む保護者、学校や友人関係で悩む子どもを、電話相談で支援する。 ■ 相談体制の充実で、家庭教育に関する課題解決を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 家庭教育に関する悩みや、不安を抱える保護者等からの電話相談を実施する。 ■ 電話相談員の資質向上に関する研修会を10回行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 家庭教育に関する悩みや、不安を抱える保護者等からの電話相談（739件）を実施した。 ■ 電話相談員の資質向上に関する研修会を10回開催した。

Check (検証)	Action (改善)
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 当初の計画通り6地区で18講座の研修会を開催し、順調に推進することができた。 ■ 意欲向上と資質向上にむけ、講座を開設することができた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各市町村が、家庭教育支援に係る取組を主体的にできるよう助言等を行う必要がある。 ■ 41市町村中32市町村から参加者があったが、残り9町村が参加できるように取り組むとともに、各市町村が家庭教育支援チームを結成できるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修の内容をわかりやすく受講者に伝え、家庭教育支援の意識や資質向上を目指す。 ■ 家庭教育支援チームを結成できるよう支援する。 ■ 家庭教育支援アドバイザー、地域コーディネーター、貧困対策支援員、福祉行政担当者、教育行政担当者等に参加を促し、人材の交流を図る。
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 計画値と同数値の県内4市町村が家庭教育支援コーディネーターを配置し、「家庭教育支援チーム」による講演会等の実施や相談活動、訪問活動等の家庭教育支援活動を行い、順調に推進することができた。 ■ 県主催でチーム員（支援員）の資質向上のための研修会等を実施した。 ■ 「やーなれー事業」で育成した地域人材（家庭教育支援アドバイザー）を活用したチームの取組（学びの場の提供など）も増えてきている。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 家庭教育支援を担う人材確保 ■ 効果的な家庭教育支援体制づくりを進めるため、福祉部局など他部局との情報交換を密にし、連携した事業展開を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 『家庭教育力促進「やーなれー」事業』との連携を密にし、市町村における家庭教育支援を行う地域人材の積極的な活用について働きかける。 ■ 県内、県外の「支援チーム」の優良事例をフォーラムや講演会等を通して効果的に周知し、チーム設置の促進を図る。 ■ 福祉部局等関係機関と連携した研修会等を実施する。
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 電話相談員研修会を計画値10回に対し、実績値10回となり、順調に取り組めた。臨床心理士を招き事例や傾聴の心得等の研修を実施しており、相談員の資質向上につながった。 ■ いじめ、DV、心因性疾患のある相談者等の案件において、迅速で丁寧な聞き取りができるようになり、連携機関への紹介も的確に行われた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 親子電話相談員研修会では、様々な事例に対応できるように内容を見直す必要がある。 ■ 複雑化する相談内容に対応することができるよう、他の専門機関や教育関係機関等との連携を進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 親子電話相談員研修会4月～6月に電話対応のシミュレーション講座を実施し、実践的な技能を高め、資質向上を図る。 ■ 複雑化する相談内容に対応するため、生命の危機等の恐れがある相談の際の対応法を相談員に周知するとともに、県警と連携を図る。

課題	事業名	内容	Plan (計画)	Do (実施)
③ 心 の 触 れ あ い の あ る 家 庭 教 育 機 能 の 充 実	工 家庭教育力 促進「やーな れー」事業 【担当課】 生涯学習振興課 【21世紀ビジョン】 5-(1)-イ① 【決算額】 49,422千円 【進捗状況】 順調	■ 基本的な生活 習慣の確立や 規範意識の向 上など、家庭 教育力の改善 充実のため、 家庭教育支援 体制を確立す る。	■ 夢実現「親のまなびあい」プ ログラムを実施すると共に、 家庭教育支援アドバイザー養 成講座、家庭教育支援アドバ イザースキルアップ研修会を 実施し、支援者のスキルアッ プとさらなる拡充を図る。 ■ 家庭教育支援体制の構築を図 るため、講演会やフォーラム、 広報を実施する。(講演会・ フォーラムを各6回開催) ■ 全フォーラムで696人が参加 した。	■ 家庭教育支援アドバイザー 養成講座を合計14回開催し、 沖縄本島と離島の38市町村 からの参加があった。 ■ 家庭教育支援フォーラムを 7回(各地区1回、中央1回) 開催した。



Check (検証)	Action (改善)
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ■今年度までに41市町村全てに家庭教育支援アドバイザーを養成し、計画を上回る624名の家庭教育支援アドバイザーが誕生した。 ■養成したアドバイザーは、学校や地域で「夢実現『親のまなびあい』プログラム」を実施する等、保護者に対する支援を行い、家庭教育の充実を図った。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ■今後は、「やーなれー」事業で養成・作成した「家庭教育支援アドバイザー」及び「夢実現『親のまなびあい』プログラム」を活用し、各市町村における家庭教育支援の充実改善に向け、各市町村教育委員会が主体となり「家～なれ～」運動を推進していけるよう支援していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■アドバイザー養成講座を開催(6回)するとともに、各市町村へのアドバイザーリストの提供や各市町村の家庭教育支援に関する組織作りの助言等を行う。

■ 家庭教育支援事業



教育講演会

■ 家庭教育支援者研修会



家庭教育支援者研修会

■ 子どもの読書活動推進事業



「文字・活字文化の日」記念フォーラム

■ 社会教育研究大会



沖縄県社会教育研究大会

(×E)